



里海体験ツアー ～山田海岸版～ 開催しました！

- 日 時：2022年6月12日（日）13:30～16:30
- 会 場：山田海岸、東かがわ市北山コミュニティセンター（東かがわ市馬篠）
- 講 師：かがわ里海ガイド（熊野 雄太 氏、中野 耕治 氏）

◆実施内容

身近な海にいるプランクトンや磯の生き物の観察を通して、里海を楽しみ、親しんでもらおうと里海体験ツアーを開催しました。親子や大学生など21人の参加者が、自作したプランクトンネットで小さな生き物を採取して観察したり、磯の生き物観察をしたりして色々な生き物にふれました。

(1) 自分でプランクトン採取ネットを作ってみよう!!

講師から、プランクトンネットの仕組みや作り方について説明を聞いた後、受講者はプランクトンネットの作成を開始しました。このプランクトンネットは、洗濯機のくず取りネットや紐、ミニボトルなど身近にあるものを使って簡単に作成できるのが特徴の1つです。

作り方を覚えておけば、家庭でも簡単に作成できる内容になっており、海だけではなく池や川で使って小さな生き物の採取もできます。



ネットの作り方を説明



親子でネット作りにチャレンジ



手作りプランクトンネット

(2) 磯の生き物観察

大潮の干潮で潮が引いた磯場に行き、講師から磯の生き物の観察方法や注意点などについて説明を聞いた後、ヘラやバケツを持って観察をスタートしました。

磯の表面には緑の海藻の「アナアオサ」、岩の隙間には「カメノテ」「スガイ」、海の中には「アメフラシ」や「ウミソウメン」とも呼ばれるアメフラシのたまご、岩を裏返してみると「ムラサキウニ」、「バフンウニ」「ヒトデ」などを観ることができました。

受講者は、これらの見慣れない生き物に最初は驚きながらも、慣れてくると自分たちでわくわく、ドキドキしながら生き物を捕まえて観察を楽しんでいる様子でした。



干潮で潮が引いた磯



磯観察の説明



ヒトデを捕まえたよ



夢中で生き物を捕まえる



つかまえた生き物



採取した生き物の説明

(3) プランクトンを捕まえてみよう、プランクトン観察

自作したプランクトンネットを使って、プランクトン採取にチャレンジしました。糸を付けたネットを海の中に投げ入れて、引っ張って来る行程を2～3回繰り返すと、ネットの底に取り付けたボトルに、こし取られたプランクトンがたまっていきました。

採取した生き物は、ルーペなどを用いて観察をしました。容器の中で素早く動く生き物や細長い生き物、エビに似た生き物など複数のプランクトンを観ることができました。

受講者は、海を眺めているだけでは分からない小さな生き物が思っている以上にたくさんいることや、この小さな生き物も他の大きな生き物にとって必要なことも体験を通して学んでいたように感じます。



採取方法の説明



プランクトン採取に挑戦



プランクトンを観察



色々なプランクトンを確認



採取したプランクトン



プランクトンの説明

受講者からは「子どもが普段できない体験ができました」「プランクトンを初めて観察することができて、嬉しかった」「新しい発見があり、楽しかったです」などの感想をいただきました。

子どもだけでなく、親子で生き物を捕まえたり、観察したりと受講者全員が夢中になって楽しんでいたのでとても印象的な講座となりました。